

### ③ ボックス内

ボックスを利用し、天井内にきれいに収めたり、カーテンボックスやバトンと同じボックス内に収めることにより、見た目にきれいな室内空間になります。

アルミボックス (AL) : 天井面にスクリーンを隠したい場合などには、オプションのALできれいな処理ができます。スラブアンカーに吊ボルトを取り付け、吊ボルトでALを固定した後、ALにスクリーンを取り付けます。



スラブから吊ボルトでALを固定

### ④ たれ壁

原則的に壁付けと同じですが、たれ壁自体の強度の確認が必要です。また、スクリーンの向きにより、生地反転 (▶ P.13) などの工夫が必要です。

### ⑤ 裏たれ壁

たれ壁と同様です。



バトンやカーテンレールと一緒に設置することもできます。

## スライディングブラケット

オーエスのPセクションおよびスクリーン・リサーチにはスライディングブラケットが付属しています。本体ケースの任意の位置でスライド調整ができ、取り付けが簡単に行える機構です。



ブラケット本体 (2個一組)



スライディングイメージ



スクリーン本体取り付け

### エクステンションポールを使って取り付ける場合

スクリーンを取り付ける場所の工事ができない場合、あるいは天井、壁などに傷をつけたくない場合にはエクステンションポール (▶ P.62) をご利用ください。

- エクステンションポールP1は、天井と床面をスプリングの力で突っ張り、スクリーン架台の役割をするものです。
- エクステンションポールとスクリーンは専用ブラケット (取付キット: S-P2K) をお使いください。

※ポールをご使用の際は、天井・床面の強度にご注意ください。スクリーンの種類によってはご使用になれない場合もあります。



P1

P1S

### マルチスタンド(三脚)を使って取り付ける場合

天井が高くポールが使えない場合、ポールに取り付けができない場合などには、マルチスタンド (▶ P.62) をご利用ください。

視聴場所がいつも異なる場合には、簡易設置型スクリーンと同じように、持ち運びスクリーンとしてもご利用いただけます。

※マルチスタンドをご使用の際は、床面が水平であることにご注意ください。スクリーンの種類によってはご使用になれない場合もあります。

